

宮津市 GIGA スクール構想

～宮津の新しい教育の創造～

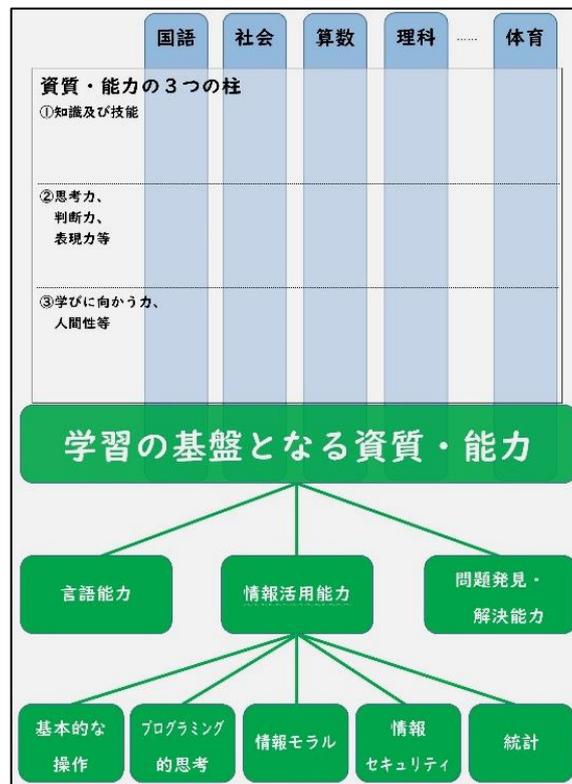
No.05

情報活用能力とプログラミング的思考の育成

これからの社会を生きていく子どもたちにとって将来どのような職業に就くとしても、コンピュータを理解し、上手に活用していく力を身に付けることが、あらゆる活動において求められています。

そこで新学習指導要領には、「言語能力」「問題発見・解決能力」、そして「情報活用能力」が学習の基盤となる資質・能力と位置付けられ、全ての教育活動のなかで育成することとされました。また、情報活用能力のなかに、新たに「プログラミング的思考」が加えられました。

小学校のときから、自分が考える一連の活動を実現するために、どのような動きを組み合わせるのか、一つ一つの動きに対応した記号をどう組み合わせたらいいのか、また記号の組み合わせをどのように工夫するのかといったことを筋道を立てて考える力を育成していきます。



「人」台端末」の環境における学びの様子

◆理科の電気の学習では、「人が通ったとき」「部屋が暗くなったとき」に明かりがつくプログラムづくりを学習します。マイクロビットという道具を使って、意図したプログラムとなるように試行錯誤しながら自動で明かりがつく装置をつくります。



【小学校】

◆技術・家庭科（技術分野）では、「ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミング」等について学びます。具体的には、ホームページづくりを通して簡単なプログラム言語を学ぶとともに、ふるさとみやづ学などでの提言に活用します。



【中学校】